

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

『豊かな心を持ち、実践力のある子』を育てる

かしこく（知）・・・よく考え進んで勉強する子　なかよく（徳）・・・明るく思いやりのある子
たくましく（体）・・・気力・体力の充実した子

＜本年度の学力向上策＞

- 1 児童一人ひとりの個性を尊重し「学ぶ・ふれあう楽しさを育む教育」の推進 ※基礎学力と学習意欲の向上
 - (1) 「自ら課題を見出し、関わり合いの中で考えを深め、豊かに表現できる児童の育成」を主題に、「さいたま市教育委員会委嘱研究指定校」(平成29～31年度)として、社会に開かれた教育課程の推進を図り、教育課程や指導方法の工夫等について研究を重ねる。
 - (2) 小学校における一部教科担任制を実施、指導体制等の工夫改善等、児童の興味・関心を高める授業を実践する。
 - (3) 多様なゲストティーチャーや地域講師等、外部の教育力の積極的な導入を図る。
 - ・室町文化体験(6年)、福祉体験(4年)、昔の道具体験(3年)、昔の遊び体験(1年)、各学習ボランティア等
 - (4) 少人数指導や習熟度別指導により、個に応じた指導の充実を図る。
 - (5) G S科の充実を図る。(G S公開週間の実施、月・木曜日朝のG Sタイムの新設)
- 2 「豊かな心を育む教育」の推進 ※学力向上の土壌づくり
 - (1) 目的意識をもった体験的な活動を通して、達成感や充実感を味わわせる。
 - ・学校、学年行事を通してやる気・笑顔・汗いっぱいの元気な辻っ子の育成を図る。
 - ・資源回収、空き缶回収、エコキャップ回収等を通してボランティア・福祉教育の推進を図る。
 - (2) 「特別の教科 道徳」の確実な実施と教育活動全体での道徳教育の推進。
 - (3) 基本的な生活習慣の確立の推進。
 - ・時間を守る(予鈴行動)、挨拶、返事、丁寧な言葉遣い、清掃、廊下歩行(走らない)等。
 - ・心を潤す4つの言葉等、進んで挨拶ができ、しっかり返事ができる児童の育成。
 - (4) 学び舎としての落ち着きと教育環境の整備。
 - ・花と緑につつまれた潤いのある学校
 - ・子どもの活動の様子や作品にあふれ、歌声が響く学校
 - ・整理整頓され、清掃がいきとどいている学校(てきぱき もくもく すみずみ びかびか)
 - (5) 読書活動の充実を図る。
 - ・本の読み聞かせ(図書ボランティアによる) ・読破賞(100冊以上読破した児童へ校長から表彰)

＜本年度の振り返り＞